

# 議会だより

newsletter

月定例会

敦賀市議会 検索



**目次**

- 意見書の提出・・・・・・・・・・ 2
- 常任委員会審査報告・・・・・・ 3～5
- 特別委員会中間報告・・・・・・ 6～7
- 行政視察報告・・・・・・・・・・ 7
- 一般質問・・・・・・・・・・ 8～12
- 審議結果一覧・・・・・・・・・・ 13
- 議会日誌、12月定例会の日程・・ 14

10月5日、敦賀駅前広場がついに供用開始となりました。供用開始に先立ち、4日には竣工式や様々な催しが行われ、多くの人でにぎわいをみせました。

また、同月14日には敦賀赤レンガ倉庫がリニューアルオープンしました。館内では、明治後期から昭和初期の敦賀を再現した国内最大級のジオラマや敦賀ならではの魅力を兼ね備えたレストランで、ゆっくりとした時間を楽しむことができます。

## 意見書の提出

今定例会で、議会提出議案として提出された意見書案が可決され、国会及び関係省庁に提出いたしました。意見書の件名及び内容は下記のとおりです。

### ○責任あるエネルギー政策と原子力発電所立地地域の安全・安心の確保についての意見書

先般、エネルギー基本計画を踏まえた長期エネルギー需給見通しが策定され、原子力発電の将来的な比率が示されたが、原子力発電所の新增設・リプレースの方針については未だ明らかにされていない。

また、いわゆる40年運転制限の適用により、敦賀発電所1号機をはじめ県内3基の原子炉が廃止されることとなり、廃炉に伴い生じる諸課題に対し適切な対応が迫られている。

一方、敦賀発電所敷地内破砕帯の評価に関して、より幅広い分野の専門家を参加させ、公正・公平な審議を行うこと、科学的・技術的な議論を尽くし、有識者の評価の根拠を明確にすることを繰り返し求めてきた敦賀市議会としては、有識者会合で取りまとめられた評価が、議論を尽くし導き出された結論であったのか疑問であるとともに、立地地域に対する説明責任が果たされていないと判断している。

については、長年にわたり市民の安全・安心の確保を大前提に、電力の安定供給を通じて我が国の発展に貢献してきた立地地域に、時間経過による不利益が生じないように、国に対し、下記の事項について、その実現が図られるよう強く要望する。

#### 記

- 1 長期エネルギー需給見通しの中で示された、原子力発電比率20～22%を踏まえ、新增設やリプレースについて、早急に明確な方針を示すこと。
- 2 原子力発電所の廃炉に伴い発生する放射性廃棄物や使用済燃料について、中間貯蔵、最終処分等の諸課題の解決に向けた取り組みを強化すること。
- 3 稼働停止及び廃炉による地域経済への影響を回避する補填的かつ幅広く活用できる支援策の構築と実施を早期に行うこと。
- 4 敦賀発電所敷地内破砕帯の審査については、改めて多様な知見を取り入れた公平・公正な議論を尽くし、科学的・技術的根拠を明確にしたうえで、その評価に携わった者が地元に対し、丁寧に分かりやすく説明するなど、説明責任を果たすこと。
- 5 申請が出された原子力発電所の安全審査については、新規制基準に基づき、中立・公正な立場で、安全性について迅速かつ確実に審査を行うこと。
- 6 原子力事業者の人材流出や就業意欲の低下等が生じることにより発電所の安全性が損なわれることのないよう、立地地域の安全・安心を確保するための対策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年9月29日

敦賀市議会

# 常任委員会審査報告

常任委員会は、本会議での議決（最終意思決定）の前に、議案や請願などを予備的に審査する場です。

「予算決算」「総務民生」「産経建設」「文教厚生」の各常任委員会の主な審査の概要について紹介します。

## ● 予算決算 ● 常任委員会 ●

〔第75号議案〕  
平成27年度敦賀市一般会計補正予算（第4号）

### 質疑

#### ◎保育園給食業務委託料について

**問** 業務に係る経費は民間委託の前後で差があるのか。

**答** 食材経費は変わらないと思うが、人件費は、食育・安全・衛生面に配慮し栄養士を2名から5名に増員するため、民間委託のほうが高くなる。



#### ◎公共施設等総合管理計画策定事業費について

**問** 市外業者への委託で人口形態や人口動態が本当に把握で

きるのか。はっきりとした市の方向性を導けるのか。

**答** 計画を策定する上で、敦賀市の状況を個別的な内容として入れていかなければならない部分もあると思うが、細かく打合せすれば策定業務に精通している業者のほうが効率よくできるのではないかと考えている。

#### ◎道路照明灯LED化推進事業について

**問** 道路照明灯は新しく設置するののか。その場合、費用はどのくらいするのか。

**答** 現在設置している道路照明灯800灯と防犯灯8000灯でまかないたいと考えている。足りない場合は地元と調整の上、必要であれば追加で予算を計上したい。

#### ◎コミュニティバス再編計画策定事業費について

**問** 事業者に再編計画の策定を委託するが、乗客のニーズに合ったものが出てくると考えているのか。

**答** 今年度については、乗り込み調査の実施とこれまで市で受けた意見等を事業者に投げかけ策定案を作成させるが、そのまま再編計画に反映することはない。

利用者からの意見聴取、住民説明会、議会への説明会の開催を予定しており、意見等を反映させるために、案に修正がかかることはあると考える。



#### ◎小中教育環境検討経費について

**問** 委員には以前開催されていた小中一貫教育検討委員会のときの学識経験者も入るとのことだが、前年度に同検討委員会から出された答申内容は担保されるのか。

**答** 前年度の答申内容を熟知している方に継続して入っていたので、その答申は重く受け止め、担保していただけるものと思う。





自由討議

# 意見

小中連携という形で色々なことを市が進めてきている中で、角鹿中学校の答申のような一体型についての検討もこの中に入ってくるのかと考えると、とても難しいと思う。今年度開催される小中教育環境検討委員会の思いがどこにあるのか、今後聞いていきたい。

# 採決

賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定



● 総務民生  
● 常任委員会

## 〔第79号議案〕

敦賀市個人情報保護条例の一部改正の件  
※マイナンバー法の施行に伴う条例改正

# 質疑

か。 情報提供等記録の提供先への通知はなぜ設けているのか。

# 答

市などが保有する情報提供等記録に訂正があった場合、情報の提供先や総務省などへ訂正したことを通知する規定が法律で定められており、条例でも同じように定めたものである。

# 討論

# 賛成

マイナンバー法は税の部分など、国民に対しての公平公正という面でメリットも多い一方、リスクが当然出てくる。国は法律を制定したところであり、国民利益、市民利益を考えるのなら、自治体としても条例を定めるべきだと思うので賛成をしたい。

# 採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

## 〔第81号議案〕

敦賀市手数料徴収条例の一部改正の件  
※マイナンバー法の施行に伴う条例改正

# 質疑

通知カードと個人番号カードの違いは。

# 答

10月5日から住民票がある国民全てに番号が振られ、その番号を通知するのが通知カードである。個人番号カードは、希望された方にだけ交付される身分証明書代わりにもなる顔写真入りのカードであり、28年1月4日から順次交付されるものである。

# 問

個人番号カードは市役所の窓口で受け取るということになるのか。

# 答

通知カードは簡易書留で個人宅に届くが、個人番号カードは市役所で本人確認をした上で交付ということになる。

# 採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定



## 〔陳情第1号〕

地方財政の充実・強化を求める意見書採択についての陳情

# 意見

一つ一つの中身は、非常に重要な項目であるが、いろんな形で進められている中で、意見書として求めるべき項目が何も無いと思う。また、国が進めていることについて、方向性がおかしいとか間違っているということは書かれていない。

# 討論

# 反対

一つ一つの項目に関しては、地方が抱えている問題点が網羅されていると思うが、あえて意見書として求める必要性はないと思う。

# 賛成

国も財政赤字がどんどん厳しくなる。景気はアベノミクスの成果で都会志向にあり、地方財政はどんどん厳しくなる。これを補完する上でも都市部から地方という面を含め、財源措置は非常に大事であるため採択すべき。

# 採決

可否同数（委員長裁決）

不採択とすべきものと決定

● 産経建設  
常任委員会 ●

「第87号議案」  
公有水面埋立てについての意見の件

質疑

**問** 今回埋め立てする鞠山南地区岸壁ふ頭用地が全面供用開始となるのはいつ頃か。

**答** 約10年後に完成すると聞いている。早期全面供用開始となるよう極力国にもお願いしている。

**問** 約5ヘクタールの面積を埋めることになるが、何立米の土が必要になるのか。また、土砂による海水の汚れや濁りを防ぐことができるのか。

**答** 今回の埋め立ては80万立米と聞いている。水深が14メートルであり深いため、汚濁防止フェンスの長さを通常の2倍程度にし、少しでも濁りを低減する方法で工事を行うと聞いている。

**問** 漁業関係者といろいろ話をされていると思うが、何か要望は出ていないか。

**答** 漁業協同組合には、工法について了解を得ており、工事については納得してもらっている。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

「請願第6号」  
TPP交渉に関する意見書提出を  
求める請願

**意見** 譲歩に関しての確定的な情報が出ていない中で、譲歩したなら撤退をしろという

内容の意見書はいかなものか。仮に多少の譲歩があったとしても国益を守るために、いたしかたない部分もある。時期的に合意へ向け大詰めという状況の中で、この意見書は提出するべきではない。

**意見** 知的財産権の問題も残っており、政府もダメなものとはダメと踏ん張っている。そういうところは評価すべきではないか。

討論  
**反対** 直ちに撤退をしろという内容の意見書であるが、今、日本国として国益を守るために鋭意交渉中であるため、反対とする。

採決 賛成なし

不採択とすべきものと決定



● 文教厚生  
常任委員会 ●

「第82号議案」  
松原公民館新築工事請負契約の件

質疑

**問** これは電子入札か。また、最初からJ V（共同企業体）での発注だったのか。

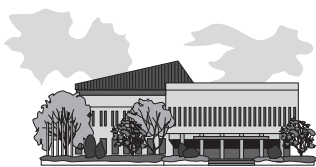
**答** 電子入札である。最初からJ Vでの発注であった。

**問** 駐車場、公民館、公園という並びについて、駐車場を真ん中に挟むと公園を利用する方にも便利かと思うが、近くの建物との関係でこのような位置になったのか。

**答** 地元の人も入った委員会の中で位置関係を決めている。また、公園の一部を変更し公民館への道路を設けているので、公園を利用する方も公民館の駐車場を利用することができる。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定



# 特別委員会中間報告

特別委員会とは、特定の案件について集中的に審査する必要がある場合に、議会の議決によって設置される委員会です。

「原子力発電所特別委員会」「新幹線対策特別委員会」の調査の概要について紹介します。

## 原子力発電所 特別委員会

### 日本原子力研究開発機構関係

#### 質疑

**問** もんじゅの非常用ディーゼル発電機のトラブルについて、理事者として原因対策の報告等を受けてどのような認識を持ち、どのような指導を行ったのか。

#### 答

一つ間違えば重大な人身事故に繋がりがかねない事象であった、作業計画や現場作業員の行動などについても逐次確認しながら、一步一步段階的にしっかりと点検をしながら進めて欲しいことを伝えた。加えて、事前の十分な検証がない非常にさまざまな作業であったのではないかとこのことを指摘し、今後は事前に検証を行い、新しいやり方については機構、文科省など上部組織も十分把握・確認した上で、新たな作業手順について承認するようにということをお願いした。



## その他

#### 質疑

**問** 工場の減少や福島の東京電力への支援で、敦賀の発電所で人が減ってきているという話をよく耳にする。一定以上の人数が減ることによって安全管理上の問題が出てこないのかという意味で、このような状況を市では把握しているのか。

#### 答

発電所の所員と協力会社を合わせた従業員数について、その経過は確認している。



#### 問

この地域の原子力発電所で想定される事件が描かれた小説が映画化され、作品を見て不安を抱いた市民から問い合わせがあった場合、どのように返答するのか。

#### 答

映画を見ての問い合わせは現在ないが、テロ対策については新たに策定された規制基準にも

盛り込まれており、意図的な航空機の衝突に対する対策を講じることとされている。

危惧される市民もいると思うので、どのように対応するか検討したい。

## 新幹線対策 特別委員会

### 敦賀駅前広場について

#### 質疑

**問** 横断歩道や乗り合いバス乗車位置には横引きブロックがあるが、市民交通ゾーンのバス停車位置や、障がい者用一時停車スペースには位置を示す横引きブロックがないため、設置すべきではないか。

#### 答

市民交通ゾーンを利用するバスや、障がい者の方が利用する車の大きさは一定ではなく乗降位置が確定できないため、誘導点字の横引き位置表示はしなかった。

#### 問

オルパーク真正面のキャノピーが途切れているため、降雪時には人の動線に支障が出るのではないか。





**問** 駅西とともに駅東にも一般  
 駐車場を設けるべきだと思  
 う  
 が、どう考えるか。

**答** 新幹線開業までには、新幹  
 線駅と8号バイパスを結ぶ幹  
 線道路整備だけで手いっぱい  
 の状況である。JR線路をまた  
 ぐ道路整備は技術的にも難し  
 いが長期的な検討課題とし  
 て残しておきたい。

**問** JRの線路をまたぎ、西側  
 の現敦賀駅と東側にできる新  
 幹線駅を結ぶ道路をつくる考  
 えはないのか。

**質疑**

**北陸新幹線敦賀駅周辺整備について**

**答** 計画段階から議論になった  
 ところではあるが、オルパ  
 ー展示スペース正面は山車等、背  
 の高い展示物搬入のため、また火災時  
 のはしご車等緊急車両停車位置確保  
 のためキャノピーを途切らせたもの  
 で、降雪時には広場ゾーンも含め指  
 定管理者が除雪対応することになっ  
 ている。



**答** 今後の協議によるが一般車  
 やタクシ一の一時乗降スパー  
 スは新幹線口にも当然必要である。  
 ただし、一般車の方は少し不便でも  
 駅西側の駐車場を利用して、敦賀駅  
 で買い物もしていただきたい。  
 今後の議論の一つであるが、でき  
 れば一般車の駐車場はすみ分けをし  
 たい。

**問** 駅東側が広域的な交通拠点  
 であることは理解するが、8  
 号バイパス直結で高速道路から近く  
 なるため、駅東にも一般車やタク  
 シ一の駐車スペースが必要ではない  
 か。

**答** 駅東は広域的な交通拠点と  
 して駅西の駅前広場にはない  
 機能、高速バス連絡や民間旅行会社  
 のバスターミナル機能整備を主に考  
 えている。市民が利用する駐車場は  
 駅西を考えている。

**行政視察報告** 視察から学んだこと

**議会運営委員会 (8月24日～26日)**

議会運営委員会では、議会の円滑な運営や、より  
 わかりやすく開かれた議会を目指しており、先進的  
 な取り組みをしている兵庫県宝塚市、茨城県取手市、  
 長野県長野市に伺い、勉強してきました。



宝塚市は早稲田大学マニフェスト研究所による議  
 会改革度調査2014において全国10位と「議会改  
 革」について評価が高く、「議会基本条例」の検証・  
 見直しや、議会として政策研究会を設置、議会提案  
 での条例制定を行うなど議会が自らの機能を果た  
 し、活性化に向けて積極的に取り組むなど、とても  
 参考となりました。

同じく議会改革度調査2014全国22位の取手市

では、議会のEメールマガジンの発行や、議会報告  
 会とは別に議員が出向いて意見交換会の開催、また  
 請願・陳情者に意見陳述の機会を設けるなど、市民  
 の声を積極的に聞こうと取り組まれており、敦賀市  
 議会でも検討したい内容でした。

長野市でも「議会基本条例」の検証・見直しの手  
 法について学ばせていただき、改めて検証の重要性  
 と難しさを認識し、今後検証を進める敦賀市議会と  
 しては大いに参考にすべき内容でした。

いずれの視察先でも委員からの活発な質疑や意見  
 交換が行われ、大変実りのある視察となりました。



# 一般質問

9月14日・15日・16日の3日間、20人の議員が一般質問を行いました。

下記の質問項目のうち、1人1項目（太字部分）について要約し、9～12ページに掲載しています。

## 一般質問 項目一覧

- ◎中野史生議員
  - 1 危機管理について
    - (1) **広域避難先**
    - (2) 避難訓練および啓蒙
    - (3) 海拔高表示
  - 2 駅周辺整備について
    - (1) オルパーク
    - (2) 駅前広場
    - (3) 今後の整備計画
- ◎石川栄一議員
  - 1 敦賀半島原子力災害制圧道路の利活用について
  - 2 水島への運航船について
  - 3 **北陸新幹線敦賀開業にかかる駅周辺整備について**
- ◎堀居哲郎議員
  - 1 **中心市街地を軸とした観光戦略、街づくりについて**
- ◎大塚佳弘議員
  - 1 障がい者福祉について
    - (1) **障がい者に関する支援制度・助成制度**
    - (2) 福祉サービスの向上
  - 2 食育について
    - (1) 学校給食への取り組みと地産地消
  - 3 通学路の安全対応について
    - (1) 通学路交通安全プログラムと課題
    - (2) 通学路の除雪
    - (3) 通学路の安全確保
- ◎豊田耕一議員
  - 1 **小中学校の教育環境について**
- ◎今大地晴美議員
  - 1 **子宮頸がんワクチン接種者の実態調査について**
  - 2 新教育委員会制度について
  - 3 生活困窮者へのサポートについて
- ◎和泉明議員
  - 1 原子力政策について
  - 2 新快速利便性向上とアーバンネットワークについて
  - 3 **市立敦賀病院経営形態について**
- ◎浅野好一議員
  - 1 **成年後見制度について**
  - 2 敦賀の「宝箱」と新幹線開業を見据えた新しい商品・特産品開発について
- ◎山本貴美子議員
  - 1 公立保育園の給食について
    - (1) 調理業務の民間委託の問題
    - (2) **3歳以上児への主食の提供**
  - 2 生活困窮者の自立支援について
    - (1) 敦賀市自立促進支援センター
    - (2) 公営住宅の保証人問題
  - 3 敦賀市人口減少対策計画について
    - (1) 地域産業への支援
    - (2) 若者への住宅支援
- ◎馬淵清和議員
  - 1 アクアトムについて
  - 2 **コミュニティバスの現状とオンデマンド交通システムについて**
- ◎常岡大三郎議員
  - 1 サッカー場建設について
  - 2 **観光戦略について**
- ◎北條正議員
  - 1 北陸新幹線敦賀延伸までの準備作業について
    - (1) 敦賀延伸までの進め方
    - (2) 駅東西の全体計画
    - (3) 受け皿
  - 2 公共施設等総合管理計画について
  - 3 広域連合構想について
- ◎北村伸治議員
  - 1 休校の利活用について
  - 2 有害鳥獣対策について
- ◎福谷正人議員
  - 1 教育問題について
    - (1) いじめ問題
    - (2) ふるさと休業
    - (3) 激励費
  - 2 **敦賀市アクアトム活用計画（案）について**
  - 3 市庁舎の耐震化について
- ◎北川博規議員
  - 1 除雪への対応について
  - 2 生活基盤の状況把握と改善について
  - 3 **児童クラブの現状と改善について**
  - 4 角鹿中学校問題について
- ◎山崎法子議員
  - 1 **運動公園プールについて**
  - 2 妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援について
- ◎米澤光治議員
  - 1 **敦賀市人口減少対策計画（敦賀市地方版総合戦略）について**
- ◎前川和治議員
  - 1 **敦賀ブランドの創出について**
  - 2 金ヶ崎周辺整備構想について
- ◎田中和義議員
  - 1 公共交通について
  - 2 **子供体験教育について**
- ◎原幸雄議員
  - 1 公民館の市長部局移管と市民協働のまちづくりについて
    - (1) **公民館のコミュニティセンター移行**
    - (2) 公民館長および職員の地域まちづくりに対する役割の明確化と意識高揚
    - (3) 公民館と学校の連携



# 教育

## 小中学校の教育環境について

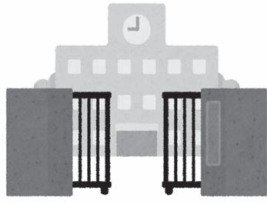
豊田耕一

### 問

更なる教育環境の向上を目指すし、教育長は今後どのような義務教育のあり方を考えているのか、できるだけ詳しくお聞きしたい。

### 答

平成32年度より大学入試に係る新制度が導入され、現在の中学校1年生が対象となる。義務教育環境のあり方を考えるに当たり、それを視野に入れる必要がある。また、平成32年度は新学習指導要領の完全実施の年度でもあり、小学校から中学校への円滑な接続が望まれることから、例えば小中接続カリキュラムの検討が一つ挙げられると考える。



## 児童クラブの現状と改善について

北川博規

### 問

それぞれの児童クラブが抱えている問題は多種多様であり、中にはそれほど予算を掛けずとも解決できるものも少なくない。ぜひ、早急に各児童クラブの要望を吸い上げる機会の設定と適切な対応をお願いしたい。

### 答

確かに児童クラブの各クラブについては、多種多様な問題を抱えているので、予算も含めていろんなところで検討してまいりたい。部局を越えた連携に今後も取り組んでいきたい。

## 子供体験教育について

田中和義

### 問

子供の体験教育事業は貴重な体験であり未来への投資とも言える大切な事業と考える。しかし事業がなくなったり市の単独事業から削除している。国・県の交付金にたよらず敦賀市が単独で事業の継続を行うことが必要だと思いが、ど

う考えるか。

### 答

子供たちが体験学習を通じて敦賀の自然と触れ合う事業は有意義であることはわかっているが、費用対効果、授業カリキュラムの問題もある。今後は農林水産振興につながる体験教育の事業は、他市の状況等も参考にして研究する。

## 3歳以上児への主食の提供

山本 貴美子

### 問

公立保育園では67年前に決められた保育の最低基準によって、3歳以上児の給食に主食を出さないため、保護者が毎日ご飯やパンを子供に持たせている。3歳以上児にもおかずと一緒にご飯など主食を出すべきではないか。

### 答

保護者からも意見は聞いています。基準もあり、保育料に主食代が含まれていないため新たな負担が発生すること、主食を提供する設備が整っていないということなどを説明し、理解を求めた。主食を提供するに当たっては課題が多いので、解決に向けての方策は考えていきたい。

# 病院・福祉

## 運動公園プールについて

山崎法子

### 問

3年後の障がい者スポーツ大会の水泳競技会場として、安全安心に競技ができ、スムーズに運営が行えるようバリアフリーの点検・整備が必要なのは。また、介助者の利用料金300円は免除、もしくは無料にすべきではないか。

### 答

玄関先の段差の解消や多目的トイレの増設を計画をしている。足元についても、大会開催時には、点字ブロックシートの設置を予定をしている。介助者のプールの利用料金については、他市の状況をよく見ながら検討していきたい。



### 障がい者に関する支援制度・助成制度

大塚 佳弘

#### 問

障がい者に関する支援事業制度・助成制度の中で、日常生活用具給付事業は生活基盤となる重要な制度である。その中で排せつ管理支援用具（紙おむつ）の対象者が病名により限定されているので、実情にあった支援ができないか。

#### 答

紙おむつの支給対象者は脳原性運動機能障害で排せつ意思表示が困難である3歳以上の方としていたが、該当しない方であっても紙おむつが常時必要性が高いことが確認でき、対象者の範囲を脳原性運動機能障害等を有することに改定した。

### 子宮頸がんワクチン接種者の実態調査について

今大地 晴美

#### 問

平成22年から24年にかけて、市内の2007人の少女たちがこのワクチンを接種している。積極的に接種を勧めてきた市の

責任は重い。副反応の実態を把握するために接種者全員に対し、健康調査アンケートの実施をしよう求める。

#### 答

定期接種については国の法律もあるので、一自治体としてそういう判断はできないと思っている。県内の状況では、まだ実施している市町はないので、今後は国の部会の検討状況など、市として福井県と各市町と情報連携をしながら対応していきたいと思う。

### 市立敦賀病院経営形態について

和泉 明

#### 問

市立敦賀病院の経営形態が来年度より地方公営企業法全部適用に移行することだが、現在の一部適用とどのように違うのか。さらに経営形態が変わることにより病院経営で最大限期待される効果は何か。

#### 答

全部適用では、地方公営企業法の組織、人事等の規定も適用され、市長任命の病院事業管理者に運営責任と権限が委譲される。また、機動的な対応による安定的経

営の継続や、職員の主体的な取り組みが期待される。



### 観光まちづくり

#### 観光戦略について

常岡 大三郎

#### 問

低迷している敦賀市の経済の起爆剤として交流人口の拡大は急務である。観光は裾野の広い産業であり、選択と集中をし、港一帯を核にした観光戦略を推進していかねばならないと考えるがどうか。

#### 答

金ヶ崎緑地全体あるいは金ヶ崎宮まで広げた公園と捉えて誘客を図りたい。フェリー乗り場を金ヶ崎緑地に持つてくるとすぐくまぎわうだろうという思いがある。港

線にS.L、電車を走らせて観光資源にすることを狙っている。

### 中心市街地を軸とした観光戦略、街づくりについて

堀居 哲郎

#### 問

観光面での更なる敦賀の発展のため現在どのような体制、役割分担で関係団体・民間業者と観光振興の協力体制を築いているのか。

#### 答

敦賀市観光推進ネットワークを立ち上げまちづくり組織の代表者と協力体制を築いている。また次世代の人材の育成の為、県立敦賀高校の生徒と協働して観光マーケティング実習を実施し、高校生による観光地ガイドや観光プランの作成発表にも取り組んでいる。



### 敦賀市アクアトム活用計画(案)について

福谷 正人

**問** 子供の遊具設置ではなく、大人も子供も気比神宮や赤レンガ倉庫などへ来る観光客にも楽しめるようなエネルギーの街として、科学館や海の科学館、鉄道と港の街として展示・体験施設等、新たな活用案を検討するつもりはあるか。

**答** アクアトムの特徴を踏まえ、た上での貴重な意見として受け止め、今後検討していきたい。また、パブリックコメント(意見公募)等を通じてできるだけ多くの人に計画を知ってもらい、できるだけ多くの方の意見を吸い上げて内容を検討していきたい。

### 敦賀ブランドの創出について

前川 和治

**問** 世界を相手に敦賀の売り込みをしていくのであれば、他の市町と連携しブランドイメージを作り上げていくことが大切である。岐阜県八百津町には人道の丘があり、敦賀市には人道の港があるため、連携・協力し合ってブランドイメージをつくっていくべきと考えるがどうか。

**答** 人道というテーマを生かした八百津町との連携については、映画「杉原千畝」公開に合わせた共同PR事業等を既に進めており、今後も継続的に取り組む。

### 休校の活用について

北村 伸治



**問** 少子化現象により、児童数が減り休校になった西浦小・中学校及び常宮小学校を拠点とし、登山や海水浴などの体験する場として県内・外から誘客を図れると思うが、今後どのような活用を考えているか。

**答** 現在、区長を初めとした地元の大学の文化部などを招致して、昼間は校舎を利用し練習や講座を行い、夜間は近くの民宿で宿泊をしてもらうてはという案も挙がっている。今後開催される委員会の中で意見を承りながら、よりよい校舎の活用する方法について検討していきたい。

### 公民館のコミュニティセンター移行

原 幸雄

**問** 地方創生のアクションが全国的に大きく動き始め、敦賀市も地域の住民や団体と行政とが互いの責任と役割を明確にし、対等なパートナーとして「地域の特徴を生かした地域づくり、まちづくり」の体制整備を早急に進める必要があるのではないか。

**答** 地区の実情に合った形でどのような事業や活動を推進していくのか、また、市にとって最適な手法を見極めるため、意欲ある公民館をモデル地区として、敦賀市独自のコミュニティセンター化も視野

に入れ検討したい。

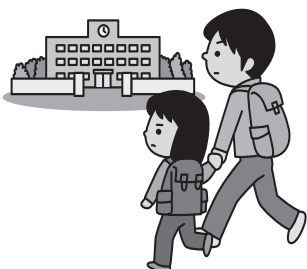
## 安全・防災

### 広域避難先

中野 史生

**問** 広域避難について、隣接県の市町まで避難先を拡大してはどうか。また、地区あるいは町・区単位での説明会や出前講座の実施が必要と考えるが、所見を伺う。

**答** 原子力災害時の広域避難については現在の避難先が全てではない。また、国の指針がある程度決まったら、広域避難先についても適時対応し、避難先との協議内容を確認しながら、より実効性の高い住民説明会も開催したい。





# 新幹線

## 駅東西の全体計画

北條 正

**問** 全体の土地活用について具体的な展望が、いまだ示されない中、駅西だけでなく、早急に東西の全体計画を示すべきではないかと考えるが、市長の所見を伺う。

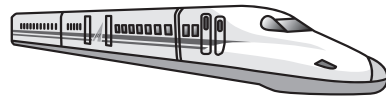
**答** 駅西・駅東双方の機能分担をする中で駅周辺全体の計画について、できるだけ早い時期に示して、ご意見をお聞きしながら進めていきたい。

## 北陸新幹線敦賀開業にかかり駅周辺整備について

石川 栄一

**問** 新幹線敦賀駅の位置や場所関係や、市民にとってとても重要な乗換利便性、また、新幹線駅と国道8号線バイパスを結ぶ駅東地区の道路整備等の現状及び進捗状況について伺う。

**答** 新幹線駅のホームの位置について、現敦賀駅の改札口から奥に約130m、左に100m、上に21mにホームの中心線が来る。乗りかえ利便性については動く歩道が必要である。8号線バイパスから駅東側までのアクセス道路は、県の協力をいただきながら協議している。



# 行政

## コミュニティバスの現状とオンデマンド交通システムについて

馬淵 清和

**問** 今回の補正予算で「コミュニティバス」の再編成計画策定事業費が計上されているがその内容はどのようなものか。また、今後

は乗降客数が少ない路線はオンデマンド交通システムを導入すべきではないか。

**答** 高齢化の進行や生活形態の変化による要望もある。よって今後は新たな運行形態も含めて再編計画を策定する。さらにはオンデマンド交通を導入する等、地区の実情に即した複合的な運行形態を検討する。

## 成年後見制度について

浅野 好一

**問** 高齢者や障害者の財産管理法と、親族以外の第三者後見人を利用している状況、成年後見人への報酬成制度、市民後見人の養成について伺う。

**答** 平成25年度に1名の成年後見制度の市長申し立てを行った。第三者後見人の選定数は県内でも増加傾向にある。成年後見人の報酬成対象者は生活保護受給者等であり、市民後見人の育成は高齢者権利擁護連絡協議会で協議する予定で

ある。

## 敦賀市人口減少対策（敦賀市地方版総合戦略）について

米澤 光治

**問** 敦賀市人口減少対策計画（敦賀市地方版総合戦略）の案が発表されたが、人口減少対策について、市長の基本的な考えや方向性、数値目標について伺う。

**答** 今回の計画については、継続性を重視する観点から昨年度作成した基本計画を踏襲し、今後5年間で5000人の人口維持、増加に努めるとした。目標設定については、今後作成する後期基本計画でしっかりと描いていきたい。



## 審議結果一覧

平成27年第4回定例会では、平成27年度各会計補正予算案4件、条例案3件、一般議案10件、報告議案6件、議会提出議案1件、請願1件、陳情1件が審議されました。  
各議案等の審議結果については、次のとおりです。

### 市長提出議案

#### 1 予算

件名	付託委員会	結果
平成27年度敦賀市一般会計補正予算（第4号）	予算決算	可決
平成27年度敦賀市国民健康保険（事業勘定の部）特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成27年度敦賀市介護保険特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成27年度敦賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決

#### 2 条例

件名	付託委員会	結果
敦賀市個人情報保護条例の一部改正の件	総務民生	可決
職員の退職手当に関する条例の一部改正の件	総務民生	可決
敦賀市手数料徴収条例の一部改正の件	総務民生	可決

### 議会提出議案

件名	付託委員会	結果
「責任あるエネルギー政策と原子力発電所立地地域の安全・安心の確保についての意見書」提出の件	—	可決

### 請願・陳情

件名	付託委員会	結果
TPP交渉に関する意見書提出を求める請願	産経建設	不採択
地方財政の充実・強化を求める意見書採択についての陳情	総務民生	不採択

#### 3 一般・人事案件

件名	付託委員会	結果
松原公民館新築工事請負契約の件	文教厚生	可決
平成26年度敦賀市歳入歳出決算認定の件	予算決算	継続審議
平成26年度市立敦賀病院事業決算認定の件	予算決算	継続審議
平成26年度敦賀市水道事業利益剰余金処分の件	産経建設	継続審議
平成26年度敦賀市水道事業決算認定の件	予算決算	継続審議
公有水面埋立てについての意見の件	産経建設	可決
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める件	—	同意
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める件	—	同意
敦賀市教育委員会委員の任命につき同意を求める件	—	同意
敦賀市監査委員の選任につき同意を求める件	—	同意

#### 4 報告

件名	結果
専決処分事項の報告の件（平成27年度敦賀市一般会計補正予算（第3号））	承認
継続費精算報告の件（平成26年度敦賀市一般会計）	報告のみ
継続費精算報告の件（平成26年度敦賀市水道事業会計）	報告のみ
健全化判断比率の報告の件	報告のみ
資金不足比率の報告の件	報告のみ
平成26年度公立大学法人敦賀市立看護大学の業務実績に関する評価結果の報告の件	報告のみ

議会日誌

平成27年7月10日以降の主な議会活動の紹介です。

11月	10月	9月	8月	7月
24日(火) 議会運営委員会、議会報告会	29日(木) 模擬報告会、福井県市町議会議員合同研修会	29日(火) 議会運営委員会、全員協議会 28日(月) 原子力発電所特別委員会 24日(月) 予算決算常任委員会全体会、広報広聴委員会 18日(金) 原子力発電所・新幹線対策特別委員会 17日(木) 総務民生・産経建設・文教厚生常任委員会 16日(水) 本会議(一般質問)、議会運営委員会 15日(火) 本会議(一般質問) 14日(月) 本会議(一般質問) 8日(火) 予算決算常任委員会全体会・分科会 7日(月) 全員協議会、本会議(9月定例会開会) 議員説明会、各派代表者会議	31日(月) 議員説明会、議会運営委員会 27日(木) 広報広聴委員会 24日(月) 議会運営委員会行政視察(26日) 3日(月) 広報広聴委員会	29日(水) 嶺南市町議長会定例会 27日(月) 議会運営委員会 24日(金) 広報広聴委員会
9日(月) 予算決算常任委員会全体会・分科会(決算) 10日(火) 議員説明会 12日(木) 予算決算常任委員会全体会(決算) 各派代表者会議、広報広聴委員会	19日(金) 議員説明会、議員研修会 20日(土) 広報広聴委員会、議会運営委員会 21日(日) 産経建設常任委員会行政視察(22日) 22日(月) 総務民生常任委員会行政視察(23日) 23日(火) 文教厚生常任委員会行政視察(23日) 29日(木) 模擬報告会、福井県市町議会議員合同研修会	9日(金) 議員説明会、議員研修会 19日(土) 広報広聴委員会、議会運営委員会 20日(日) 産経建設常任委員会行政視察(22日) 21日(月) 総務民生常任委員会行政視察(23日) 22日(火) 文教厚生常任委員会行政視察(23日) 29日(木) 模擬報告会、福井県市町議会議員合同研修会	3日(月) 広報広聴委員会 24日(月) 議会運営委員会行政視察(26日) 27日(木) 広報広聴委員会 31日(月) 議員説明会、議会運営委員会	24日(金) 広報広聴委員会 27日(月) 議会運営委員会 29日(水) 嶺南市町議長会定例会

### 敦賀市議会ホームページにアクセス!

敦賀市議会  検索

以下のような情報を公開しています

- 過去(平成22年から)の本会議の映像  
定例会ごと、議員ごとに見られます  
会期中は本会議の中継も行います
- 議員について  
顔写真、連絡先、所属会派や委員会
- 議会について  
会期日程、審議結果、意見書
- 議会報告会について  
アンケート結果、会場ごとの報告書
- 議会だより  
バックナンバーはホームページで

議会報告会の報告書なども公開中!

### 12月定例会の日程(予定)

議会を傍聴される方は、  
当日、市役所5階の議会事務局へお越しください。

12月1日(火) **本会議** 議案の説明・質疑

2日(水) **委員会** 予算決算常任委員会

9日(水) **本会議** 一般質問

10日(木) **本会議** 一般質問

11日(金) **本会議** 一般質問

14日(月) **委員会** 常任委員会  
(総務民生、産経建設、文教厚生)

15日(火) **委員会** 特別委員会

16日(水) **委員会** 予算決算常任委員会

21日(月) **本会議** 委員長報告・討論及び採決

● 本会議は、午前10時から  
テレビ中継とインターネット中継を予定しています。

### 編集後記

4月に改選した敦賀市議会も6月、9月と2回の定例会を終え、この議会だよりが発行される11月24日には改選後初めての議会報告会を開催します。

敦賀市議会は身近でわかりやすい議会を目指しており、議会だよりや議会報告会、RCNでの生放送やインターネット中継などを通して、積極的に議会の内容をお知らせし、また皆様からのご意見を伺う活動をしています。

今後ともわかりやすい紙面を目指してまいりますので、ご意見ご要望などございましたら、左記までご連絡下さい。

発行：敦賀市議会  
住所：敦賀市中央町 2丁目1番1号  
電話：22-8157  
Eメール：gkai@ton21.ne.jp

広報広聴委員会  
委員長 米澤光治  
副委員長 福谷正人  
委員 今大地晴美  
委員 大塚佳弘  
委員 北川博規  
委員 浅野好一  
委員 堀居哲郎  
委員 前川和治